

2021年1月度 高島屋店頭売上速報

■ 国内百貨店売上高 (前年比 単位:%)

大 阪 店	△35.5	大 宮 店	△31.5
堺 店	△21.2	柏 店 ※1	△28.1
京 都 店 ※1	△28.9	(株) 高 島 屋 各 店 計	△30.2
泉 北 店	△14.0	(株) 高 島 屋 各 店 計 ※3 既 存 店	△29.5
日 本 橋 店	△25.3	岡 山 高 島 屋 ※1	△13.0
横 浜 店 ※2	△30.4	岐 阜 高 島 屋	△17.4
新 宿 店	△33.8	高 崎 高 島 屋	△15.5
玉 川 店	△23.0	(株) 高 島 屋 各 店 および 国内百貨店子会社 計	△29.6
立 川 店	△18.3	(株) 高 島 屋 各 店 および 国内百貨店子会社 既存店計 ※4	△28.4

※1. 京都店の売上高は「洛西店」、柏店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン おおたかの森店」、岡山高島屋の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 岡山店」を含みます。

※2. 横浜店の売上高は「タカシマヤ フードメゾン 新横浜店」を含みます。

横浜店の前年比は2020年2月に営業を終了した「タカシマヤ スタイルメゾン」の売上を含む前年実績との対比です。

※3. 2020年8月に営業終了した港南台店の前年実績を控除しています。

※4. 2020年3月に全株式を譲渡した米子高島屋および2020年8月に営業終了した港南台店の前年実績を控除しています。

■ 概況

○1月度の店頭売上は、緊急事態宣言再発出に伴い外出自粛の傾向がさらに強まったことに加え、一部店舗での営業時間短縮、初商での福袋販売方法の変更やセール分散開催、免税売上の大幅な減少が継続している影響などにより前年実績を下回りました。

免税売上は前年比△86.7%、免税を除いた店頭売上は同△24.9%（既存店計△23.6%）となりました。

なお、対前々年比では、店頭売上は△31.5%（既存店計△30.3%）、免税を除いた店頭売上は△27.7%（同△26.3%）となりました。

○店舗別売上は、全店が前年実績を下回りました。

○商品別売上（当社分類による15店舗ベース）におきましては、サービス営業を除く商品群が前年実績を下回りました。

以 上